プログラム
日韓共同ワークショップ
「朝鮮半島の平和から北東アジア非核兵器地帯へ」

2019年6月1-2日

於：世宗研究所会議室（韓国）

共催：世宗研究所、長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）

協力：北東アジアの平和と安全保障に関するパネル（PSNA）

第一日目 6月1日（土）

13:00-13:15 開会あいさつ

ペク・ハクスン（世宗研究所所長、韓国）

吉田文彦（RECNA センター長、日本）

マイケル・エリック・ハメル＝グリーン（ビクトリア大学メルボルン校名
誉教授、オーストラリア）

13:15-14:45 セッション1

「北東アジアの平和と安全保障、ならびに朝鮮半島の非核化プロセスの現状
に関する全体的な評価」

〔議長〕 ペク・ハクスン（世宗研究所所長、韓国）

〔発言者〕

マーク・ビヨン-ムン・スー（パグウォッシュ会議評議員、ドイツ）

太田昌克（共同通信編集委員、RECNA 客員教授、日本）

キム・ジュンヒョン（韓東大学教授、韓国）

15:15-16:45 セッション2

「南北関係——2018年平壤宣言のような南北発のイニシアティブを行うこ
との重要性」

〔議長〕 リ・ミョンウ（世宗研究所副所長、韓国）

〔発言者〕

トビー・フィールド・ダルトン（カーネギー国際平和財団核政策プログラ
ム共同ディレクター、米国）

ファン・イルド（韓国国立外交院准教授、韓国）

17:00-18:30 セッション3

「朝鮮半島の今後——平和で核の脅威のない朝鮮半島の実現に向けた想

定されるシナリオ、ならびに実現のための条件は何か。我々はいかに現状の困難を乗り越えていくべきか」

〔議長〕 遠藤誠治（成蹊大学教授、日本）

〔発言者〕

アントン・フロプコフ（エネルギー安全保障研究センター長、ロシア）

パク・ジョンチョル（韓国統一研究院名誉研究員、韓国）

全 炳徳（長崎大学教授、日本）

第二日目 6月2日（日）

10:00-12:00 セッション 4

「北東アジアにおける地域安全保障の枠組み——並行した取り組みとして、いかに地域安全保障の枠組みを構想し、構築すべきか」

〔議長〕 アンゲラ・ウーサー・ケイン（ウィーン軍縮不拡散センター（VCDNP）上級研究員、オーストリア）

〔発言者〕

ピーター・ヘイズ（ノーチラス研究所所長、米国）

チョ・キョンファン（世宗研究所安全保障戦略研究局客員研究員、韓国）

フランク・ニールス・フォン・ヒッペル（プリンストン大学 公共国際問題学部科学・国際安全保障プログラム名誉教授、米国）

13:30-15:00 セッション 5

「北東アジア非核兵器地帯に向けて——朝鮮半島の平和から、地域の平和と安全保障のための北東アジア非核兵器地帯に向けて、どのように移行していくべきか」

〔議長〕 鈴木達治郎（RECNA 副センター長）

〔発言者〕

マイケル・エリック・ハメル＝グリーン（ビクトリア大学メルボルン校名誉教授、オーストラリア）

梅林宏道（RECNA 客員教授／初代センター長、日本）

トン・ツァオ（カーネギー清華国際政策センター フェロー、中国）

15:30-17:30 セッション 6

「関係各国への政策提言」

〔議長〕 吉田文彦、ペク・ハクスン

〔コメント〕 朝長万左男（RECNA 客員教授、日本）

南北関係／米中関係／日韓関係／政策提言に関わる他の国家間関係